

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、着実に回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は底堅く推移しており、住宅投資は一進一退の状況にある。

生産は緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資 …… 基調としては持ち直し

10月の公共工事請負金額は、独立行政法人等は増加したものの、国、市町村などが減少したため、全体では2か月連続で前年を下回った（前年比▲9.4%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 8月	9月	10月
山形県	96.6	91.7	▲2.2	0.5	▲3.7	▲9.4

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資 …… 増加

9月の建築着工床面積（民間非居住用）は、医療・福祉、教育・学習支援などは減少したものの、製造業、農林水産などが増加したため、全体では2か月連続で前年の水準を上回った（前年比14.7%）。9月短観における2017年度の設備投資計画（全産業）は、製造業、非製造業とも上方修正され、2年連続で増加する計画（前年度比43.2%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
山形県	47.1	▲37.3	▲32.8	▲43.5	9.3	14.7

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2017年9月山形短観） 前年度比、%

山形県	2015年度（実績）	2016年度（実績）	2017年度（計画）
全産業	▲9.8	24.6	43.2<4.6>
製造業	▲22.3	28.8	68.2<2.7>
非製造業	12.1	19.5	10.9<8.5>

<資料>日本銀行山形事務所

< > 内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・底堅く推移

9月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、飲食料品、衣料品などが前年を上回ったことから、全体では2か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比0.2%）。家電販売は、季節家電などが減少したことから、前年の水準を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2017年 1~3月	4~6月	7~9月	2017年 7月	8月	9月
全店	▲1.8	0.6	1.3	1.9	0.1	2.1
既存店	▲1.6	▲1.4	▲0.5	0.1	▲1.6	0.2

〈資料〉経済産業省

10月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、13か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.2%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 8月	9月	10月
乗用車 (含む軽)	18.6	7.5	17.9	6.8	11.9	0.2
乗用車 (除く軽)	16.3	12.6	11.2	5.8	5.8	1.7

〈資料〉東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資・・・一進一退

9月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲とも増加したため、全体では2か月連続で前年の水準を上回った（前年比19.0%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
山形県	6.2	▲20.1	19.6	▲18.5	14.3	19.0
持家	30.1	▲6.3	▲1.5	▲7.5	▲1.4	25.7
貸家	▲14.6	▲54.8	61.2	▲29.3	31.6	5.4
分譲	23.3	▲8.5	19.6	▲39.3	70.0	46.7

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直し

8月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、3か月ぶりに上昇した（前月比4.3%）。業種別には、化学、はん用・生産用・業務用機械など4業種は低下したものの、金属製品、電子部品・デバイスなど18業種は上昇した。

8月の在庫指数（季節調整済）は、3か月連続で低下した（前月比▲2.2%）。

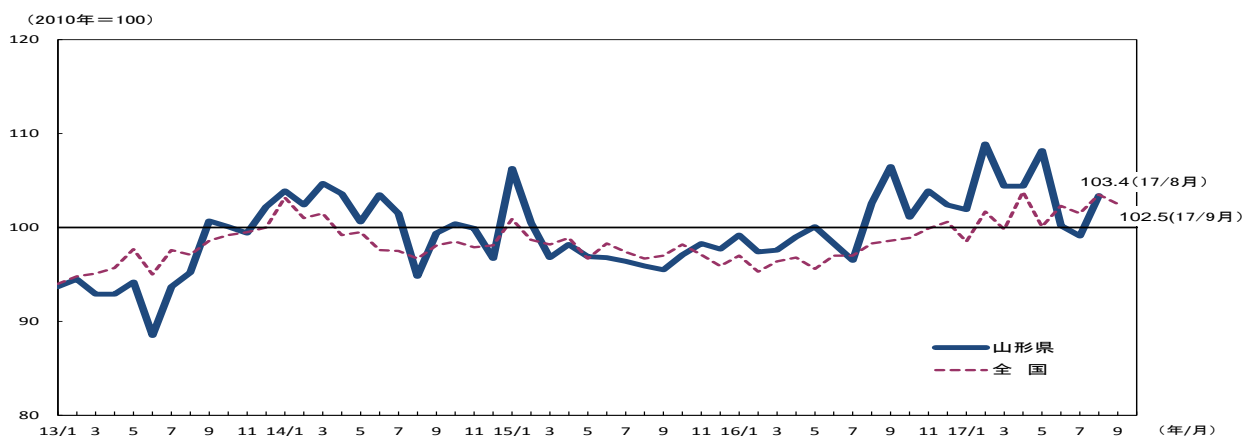
（図表7）鉱工業指数

2010年基準

山形県		2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
生 産	季節調整済前月比%	3.8	▲1.4	▲4.1	▲7.4	▲1.1	p 4.3
	原指数前年比%	12.4	3.8	6.9	1.8	2.7	p 0.7
在 庫	季節調整済前月比%	▲1.8	1.2	0.1	▲1.4	▲1.3	p ▲2.2
	原指数前年比%	▲0.7	2.7	2.6	9.5	6.9	p 3.0

〈資料〉山形県企画振興部

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

9月の有効求人倍率は、1.60倍となった。業種別には、卸・小売、製造業を中心に多くの業種で新規求人が増加した。9月の雇用保険受給者は、17か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲15.9%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2017年 1～3月	4～6月	7～9月	2017年 7月	8月	9月
有効求人倍率	1.42	1.52	1.57	1.56	1.55	1.60
有効求職者数	〈▲7.3〉	〈▲7.6〉	〈▲6.7〉	〈▲8.3〉	〈▲6.7〉	〈▲6.7〉
有効求人数	〈6.2〉	〈8.9〉	〈11.0〉	〈9.6〉	〈11.0〉	〈11.0〉
完全失業率	2.1	2.0	n. a.	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲12.5〉	〈▲14.4〉	〈▲15.9〉	〈▲14.5〉	〈▲16.7〉	〈▲15.9〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

8月の常用雇用指数は、5か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.7%）。業種別には、製造業、医療・福祉などは前年の水準を下回ったものの、卸・小売、生活関連サービスなどは前年の水準を上回った。

8月の所定外労働時間は、2か月連続で前年の水準を上回った（前年比5.5%）。業種別には、宿泊・飲食、複合サービスなどは前年の水準を下回ったものの、卸・小売、建設などは前年の水準を上回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
常用雇用指数	0.1	0.8	0.0	0.7	1.0	0.7
所定外労働時間	▲3.7	▲6.1	▲4.2	▲0.6	2.4	5.5

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

8月の現金給与総額（名目賃金指数）は、製造業、複合サービスなどは減少したものの、宿泊・飲食、医療・福祉などは増加したため、3か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比1.2%）。

8月のきまって支給する給与は、5か月連続で前年の水準を上回った（前年比1.2%）。

(図表11) 所得関係指標 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.1	0.1	▲2.4	▲0.4	▲0.6	1.2
きまって支給 する給与	▲1.5	▲1.4	▲1.3	0.5	1.6	1.2

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

10月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（4件）では前年（6件）を下回ったものの、負債総額（3.9億円）では前年（3.6億円）を上回った。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 8月	9月	10月
件数	2	4	1	4	4	4
負債総額	32.5	4.2	0.4	5.1	2.5	3.9

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

9月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比0.8%)。費目の内訳をみると、住居、家具・家事用品は前年を下回ったものの、光熱・水道、生鮮食品を除く食料などは前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
総合	0.3	0.8	0.9	0.7	1.2	0.9
生鮮食品を除く総合	▲0.1	0.9	0.6	0.8	1.0	0.8

<資料>山形県企画振興部

7. 金融

9月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比1.2%)。

9月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比1.7%)。

この間、8月の貸出金利は低下した(前月比▲0.002%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
実質預金+CD (末残前年比)	0.9	1.0	1.1	0.9	1.2	1.2
貸出金 (末残前年比)	2.8	2.4	2.0	2.0	2.2	1.7

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2016年 10~12月	2017年 1~3月	4~6月	2017年 6月	7月	8月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.015	▲0.013	▲0.016	▲0.003	▲0.004	▲0.002

8月末水準
1.062%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004